

平成27年度公益社団法人高知県診療放射線技師会総会議事録

平成28年6月5日（日）午後1時より、
総合あんしんセンターにおいて平成27年度定期総会を開催した。

日 時 平成28年6月5日（日）午後1時～3時
場 所 総合あんしんセンター3階 大会議室

開会の辞 副会長 高橋宏幸
平成27年度総会の開会を宣言した。

黙 禱 参加者全員で熊本地震の犠牲者の皆様に哀悼の意を捧げ、黙禱した。

会長挨拶 会 長 巴 昭彦
本日の総会への出席に感謝を表し、これからの技師会の活動に協力をお願いした。また、技師法改正に伴い行っている「業務拡大に伴う統一講習会」について協力を求めた。

勤続25周年表彰 水口紀代美 （もみのき病院）
久保 克泰 （高知赤十字病院）
野村 忠弘 （愛幸病院）
松井 賢哉 （高知県立幡多けんみん病院）

学術奨励賞表彰 谷脇 貴博 （近森病院）

総会運営委員会報告 委員長 竹中俊之
会員総数 219名
有効票数 145名（出席者39名、委任状99名、署名評決賛成7名）
よって本総会は成立した。

議長選出 総会運営委員会は定款第21条、総会議事規程第9条（1）に従って、
出席した会員の中から議長を選出した。
続いて議長は、書記、採決係を指名した。

議 長 大川剛史
書 記 高橋良幸 高橋宏幸
採 決 係 佐野友彦 西内恒太郎

○議 事

1. 第1号議案 平成27年度事業報告および平成27年度決算報告について

議長は、総会運営委員会の報告通り本会が成立しているため、直ちに議事に入り、会長に議案について説明を求めた。

巴会長から、総会資料に基づき平成27年度事業報告について説明した。

続いて、平成27年度決算報告について決算報告書に基づき会計担当池理事から、決算報告書の正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録を基に説明した。この中で、平成27年度の正味財産期末残高が大きくマイナスになっていることに触れ、平成26年度は「放射線高知」を発行しておらず、平成27年度に2年間分を発行し、経費がすべて平成27年度に計上されているためであるとの説明をした。

2. 第2号議案 平成27年度監査報告について

清水雅明監事より、平成27年度監査報告が行われた。

議長は第1号議案、第2号議案について議場に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

3. 第3号議案 平成28年度事業計画、および平成28年度予算について

巴会長より、平成28年度事業計画について以下の通り説明した。

診療放射線技師法の2014年6月18日付一部改正により、拡大された業務を遂行するため医療の質と安全を担保しなければならない。その為に必要な知識、技能習得を目的とした「業務拡大に伴う統一講習会」を昨年に続き、8月13日、14日の両日に高知県にて実施する。今回から静脈注射講習会（穿刺を除く）が入った全科目の講習会のため、全ての診療放射線技師が対象になっている。講習費は15,000円と少し高額な設定となっているが、安価な講習費では、国の委託事業として認定講習会と認可されないという事情もありご理解を頂きたい。業務の安全を担保するため是非講習会を受講して頂くようお願いする。

その他の取り組みとしては、新人を対象としたフレッシュャーズセミナー、MRI基礎講習会、サーベイメータ校正講習会、高知県診療放射線技師会学術大会を来年2月12日に高知医療センターにて開催予定としている。このなかで、学術大会の演題募集は、10月1日から11月30日としている。

さらに、地区活動や学術の活動支援のため、10月29日、12月10日、来年1月28日、3月25日について、あんしんセンターの中会議室を確保している。

広報活動については、本会ホームページの活用を積極的に行い、配付資料を紙ではなく、電子媒体で配信するよう検討している。特に、「放射線高知」は紙媒体では多額の費用が必要なため、電子化による経費削減を推進し、次年度以降に実行に移したいと考え

ている。

また、昨年度から発足している高知県死因究明推進協議会から、A iについての協力要請が来ており、高知県技師会として対応していく所存であり、その他本会の目的達成に必要な事業として、今年度もリレーフォーライフに参加する予定である。

以上、巴会長からの説明に対して議場からの質問はなく、執行部 高橋副会長より業務拡大に伴う統一講習会とMR I 基礎講習会への参加を呼びかけた。また、議長より、8月に警察学校にてA iの報告を行うとの報告があった。

引き続き、巴会長から平成28年度予算について総会資料に基づいて説明した。

議長は第3号議案について議場に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

4. 第4号議案 その他

議長は、その他議案についてについて議場提議を求めた。

これを受けて、議場からは以下の質疑応答がされた。

質疑 (岡林)

日放技の女性技師活躍推進班の予算が昨年より大きくなっているが、高知県やCS9(中四国ブロック)の活動について説明してほしい。

回答(山中理事)

日放技の予算だけでは活動は難しく、中四国フォーラムと合同で活動しており、今年度の島根では市民講演にて認知症について講演を行う。女性が幹部になれるように支援していくことが目的なので、若い技師の参加を呼び掛けた。高知県のなかではリレーフォーライフなどの活動のなかで顔合わせができたらと思っている。

(巴会長)

高放技としてはCS9に参加のための旅費(一人目は日放技でているので、二人目以降について)などの支援を行っている。

質疑(竹村)

高知県内の技師会入会率、未入会の技師へのはたらきかけについてお伺いしたい。

回答(巴会長)

実数は把握していないが入会数が減っている。働きがけについては公益法人として未入会、入会に関わらず講習会などの活動に参加してもらえるように活動している。また、ホームページなど広報活動を行っていく。その中で入会の意義を確認し再入会していただければいい。また会員からも働き掛けの案があれば、提案してほしい。

質疑(竹村)

議場より、県に技師の人数を問い合わせてみてはどうか。

また、その他本会の動きで臨床検査技師会新年会が挙げられている理由を伺いたい。

回答（巴会長）

高知県臨床検査技師会は、同じ事務所に入っている高知県栄養士会と共に「さんし会」として交流をしている。この行事も交流の一環として毎年参加している。この会には県や市の部課長や、尾崎知事が出席されることもあり県知事表彰を行っている。医療関係職種団体の会長と共に情報交換や本会のアピールの場として活用している。また本会の記念式典や祝賀会にも参加をお願いし、実際に参加を頂いているのでご理解頂きたい。

議長は第4号議案について議場に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

閉会の辞 副会長 伊東賢二

円滑な議事進行に協力いただいたことに謝辞を述べ閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長および理事が記名押印する。

平成 28 年 6 月 18 日

平成 27 年度公益社団法人高知県診療放射線技師会総会

捨印欄

議 長 大川 剛史 ⑩

会 長 巴 昭彦 ⑩

副 会 長 高橋 宏幸 ⑩

副 会 長 伊東 賢二 ⑩

理 事 中村 伸治 ⑩

理 事 藤田 純二 ⑩

理 事 大野 貴史 ⑩

理	事	池 三二雄 ⑩
理	事	足達 麻衣 ⑩
理	事	三好 裕司 ⑩
理	事	山中こず恵 ⑩
理	事	板山 和幸 ⑩
理	事	岡林 史朗 ⑩
理	事	柳本 禎久 ⑩
理	事	保川 幸稔 ⑩
理	事	楠永 倫也 ⑩
理	事	小松 剛 ⑩
理	事	近藤 匡史 ⑩
理	事	菊地 真司 ⑩